

令和3年度「幼児教育科の教育改善のための就職先ニーズ調査」結果

【アンケート実施要領】

1. 実施時期

令和3年12月吉日付けで依頼し、回収は令和4年1月31日（月）まで。

2. アンケート依頼先

令和2年度卒業生の就職先である認定こども園・幼稚園・保育園・施設（82園）

3. 実施の目的

学生に求める資質・能力、在学中に実施すべき教育内容・授業方法等について、学生を採用する認定こども園・幼稚園・保育園・施設の意見等を参考にするため。

4. 回答数 45園／82園（回答率54.9%）

依頼先	依頼数	回答数	回答率
認定こども園	35園	18園	51.4%
幼稚園	9園	2園	22.2%
保育園	36園	23園	63.9%
施設	2園	2園	100%
合計	82園	45園	54.9%

【回答結果】

1. 貴園が学生に求める資質・能力について

項目	回答	左記項目に対する本学卒業生の評価回答			
		優れている	まあまあ	あまり	全く
1) 保育者としての資質	30 園 (36.6%)	25 園	16 園	1 園	0 園
2) 専門知識	22 園 (26.9%)	8 園	25 園	5 園	0 園
3) 技能	23 園 (28.1%)	13 園	22 園	5 園	0 園
4) コミュニケーション力	30 園 (36.6%)	21 園	19 園	1 園	0 園
5) 職業倫理	26 園 (31.7%)	21 園	14 園	3 園	1 園
6) 地域との関わり	16 園 (19.6%)	5 園	21 園	6 園	2 園

7) その他（自由記述）：一部抜粋

- ・上記、2)3)5)も大切だが、就職してから学べることなので、1)4)を学生のうちにしっかり身につけたり、意識して欲しいです。
- ・素直さ謙虚さをもつことは大切な要素だと考えます。
- ・コミュニケーション力や職業倫理の分野と重なる部分はあるかと思いますが、「笑顔で挨拶が交わせること」「先輩保育士の助言を素直に聞き入れること」「提出物等の期限を守ること」などの社会人としての基本的な部分を第一に考えています。

2. 貴園が本学の学生に対し、在学中に実施すべきと考える「教育内容・教授方法等」について

項目	回答	自由記述（一部抜粋）
1) 保育者としての資質	30 園 (36.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉遣いや声のトーンなどから、保育者として何がいいのかを考える機会 ・ボランティア活動などで子どもと触れ合う経験 ・「人を育てる」仕事なので、携わる者として、自らの人間性を磨いていこうとする自覚を持つよう、意識を高める
2) 専門知識	22 園 (26.9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある子、グレーゾーンの子が多くなってきているので、障がいに関する専門知識 ・加配や個人指導が必要な園児へのかかわり方 ・要領の内容を覚えておくというより、活用の仕方を身に着けていると良い ・子どもの年齢ごとの成長や発達の内容 ・感染から身を守る、安全な生活をどういう形で行っていくかなど、時代のニーズに対応する力 ・「社会的養護」について（児童養護施設については、社会的にあまり知られていないので）
3) 技能	23 園 (28.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの技術 ・子どもたちを惹きつける出し物や言葉を学ぶ
4) コミュニケーション力	34 園 (41.5%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばで伝え合う力 ・保育者に質問する力 ・先輩とのコミュニケーション力をつけて欲しい ・自分の思いや考えを表現する（書く・話す）機会 ・指示待ちではなく、自ら周囲の動きを感じ取って、加担していけるような自主性 ・アンガーマネジメント、アサーショントレーニング等
5) 職業倫理	24 園 (29.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報に関わる守秘義務の大切さ ・社会人としてのマナー、社会規範 ・時間、提出期限等をきちんと守ることができる ・報告、連絡、相談が適切に出来ると良い
6) 地域との関わり	13 園 (15.9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・園が関わっているものについて ・行政や他の幼保小などについて考える機会 ・地域性が色濃く反映される業界であり、園・地域・保育者は子どもの育成にとって大切な「保育資源」であり、地域とのつながりなくして保育は存在しないこと

7) その他（自由記述）：一部抜粋

- ・置かれた場所で着実に役割を果たし、自分ばかりでなく全体のことも考えて動けるような人間を育てていただければありがたい
- ・先輩保育者からの助言等、前向きに受け入れる姿勢が見られないときがある。素直な心、気持ちを持ち、自分の不足している部分を補えるチャンスだと捉えられるくらいのポジティブな考えかたを学んでほしい
- ・連絡帳や学期ごとの子どもの様子など、保護者の手元に残るものには気を使います。文章が苦手だったり誤字があったり。ご指導いただけるとありがたいです。
- ・事務処理に対する心構え

3. その他：本学教育に関するご意見・ご要望やご採用にあたっての感想等ございましたら、ご記入をお願いします。（一部抜粋）

- ・ 基本的な保育の知識、技術等は身につけており、一人ひとり頑張ってくれています。コロナ禍で難しいとは思いますが、他者との協調、協働の面や社会人としての基本（時間や提出期限を守る。「ほう・れん・そう」、挨拶等）が身につけていると仕事がより円滑に進むと思います。
- ・ 実習生を受け入れるにあたり、実習の心構えやノート、指導案の書き方などについての指導内容について概要を教えていただければありがたいです。
- ・ 複数の実習生受け入れも多く、学生同士で話をしている姿は多く見かけますが、担任などへの関りは少なく、幼児理解や園の理解への意欲が感じられません。
- ・ 責任実習では制作物に片寄りがちで独創性がありません。
- ・ 技能や情報、知識はもちろん重要ですが、子どもに愛情をもって接することができるか、仕事に対して前向きに取り組む意欲があるかどうかを現場にすぐ立つ先生には求められると思います。面接や就職活動時にはそういった点を魅力的にアピールできると自らの強みになると思います。
- ・ 知識、実践力と共に、コミュニケーション力に長けた人材を希望しています。人間関係を構築するための社会性を身に付けられるようご指導をお願いいたします。
- ・ 保育者としての専門的な知識や技術は、就職後、経験を積み重ねていくことで習得できますが、新卒を採用するにあたって現場から望むことは、①「人」として最低限の常識を持っているか②子どもの人権を尊重し、子どもに寄り添えるか③主体的に考え行動できるか④コミュニケーション能力があるか、等を重要視し採用にあたっていきたいと考えています。
- ・ 健康管理も仕事のひとつ
- ・ 学生の方が就職先として考える基準や優先する項目（給料や勤務地域など）が知りたいです

以上